

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 1 月 17 日 (2013.1.17)

【公表番号】特表 2012-519357 (P2012-519357A)

【公表日】平成 24 年 8 月 23 日 (2012.8.23)

【年通号数】公開・登録公報 2012-033

【出願番号】特願 2011-552016 (P2011-552016)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/14 (2006.01)

H 0 1 M 4/62 (2006.01)

H 0 1 M 4/72 (2006.01)

H 0 1 M 4/73 (2006.01)

H 0 1 M 4/20 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 4/14 Q

H 0 1 M 4/62 B

H 0 1 M 4/62 Z

H 0 1 M 4/72 A

H 0 1 M 4/73 A

H 0 1 M 4/20 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 19 日 (2012.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

グリッドと、

前記グリッド上に与えられた活物質と、

前記活物質上または活物質中に与えられた かつ約 0.06 から約 5 mm の厚さを有する  
ペースト用テキスタイルと、

を備え、

前記ペースト用テキスタイルは、20 μm よりも大きい平均長さを有する 1 つまたは複  
数の繊維を含んだ繊維網を含み、

前記繊維は、一本当り約 1 から約 10 デニールであることを特徴とする、電池電極。

【請求項 2】

前記 1 つまたは複数の繊維は、前記グリッドの長さとの幅の合計の約半分以上の平均長さ  
を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の電池電極。

【請求項 3】

前記グリッドは、周縁を有し、

前記繊維は、第 1 の端と第 2 の端を有し、

前記繊維の第 1 の端は、前記グリッドの前記周縁付近に実質的に位置し、

前記繊維の第 2 の端は、前記グリッドの周縁付近に実質的に位置している、

ことを特徴とする、請求項 1 に記載の電池電極。

【請求項 4】

前記繊維の平均長さは 1.5 mm ~ 15 mm である、請求項 1 に記載の電池電極。

## 【請求項 5】

前記繊維網は点結合された不織布である、請求項 1 に記載の電池電極。

## 【請求項 6】

前記ペースト用テキスタイルは厚さが  $0.06\text{ mm} \sim 0.50\text{ mm}$  である、請求項 1 に記載の電池電極。

## 【請求項 7】

前記ペースト用テキスタイルは厚さが  $0.06\text{ mm} \sim 0.25\text{ mm}$  である、請求項 6 に記載の電池電極。

## 【請求項 8】

前記ペースト用テキスタイルは約  $0.15 \sim 2.0$  オンス / 平方ヤード (約  $5.1 \sim 67.8\text{ g/m}^2$ ) の範囲の密度を有する、請求項 1 に記載の電池電極。

## 【請求項 9】

前記繊維は  $10\text{ }\mu\text{m} \sim 25\text{ }\mu\text{m}$  の直径を有する、請求項 1 に記載の電池電極。

## 【請求項 10】

前記繊維は一本当り 4 デニール以下である、請求項 1 に記載の電池電極。